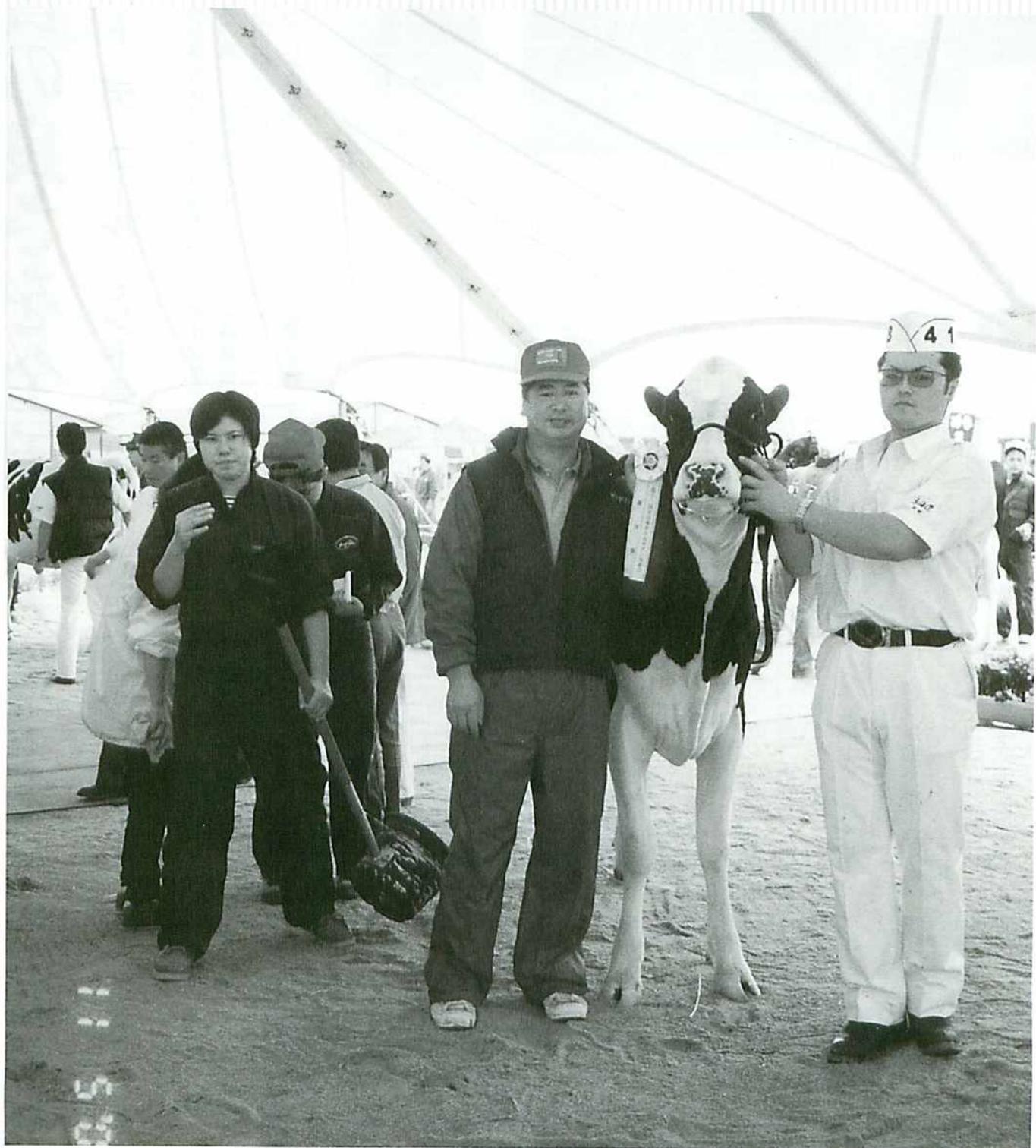


あなたとJAをむすぶ情報誌

なかしべつ

2000
12月
No.312

全国共進会で優等3席に入賞しました 佐々木昭雄さん生産所有の
アーススイースト デコール ミント号



乳牛の質の良さを全国にアピール。

アースイースト デ コール ミント号 第4部優等3席に入賞。

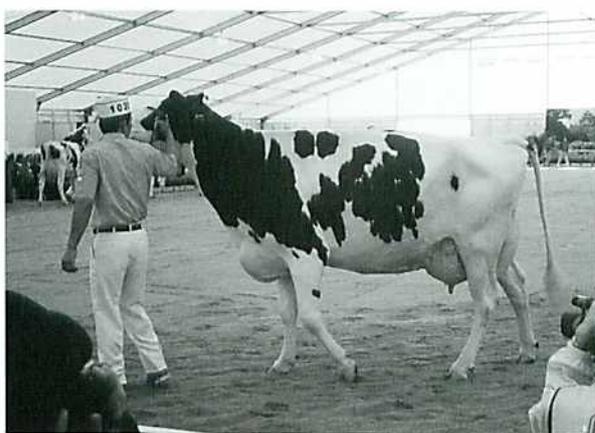
日本全国から予選を勝ち抜いた三百頭のホルスタイン牛が、一堂に集められる五年に一度の第十一回全日本ホルスタイン共進会が、十一月二日〜五日にかけて、岡山県児島郡灘崎町「おかやまファーマズ・マーケット サウスヴィレッジ」にて開催されましたので、その報告を致します。



第4部出場のアースイースト デ コール ミント号。慎重にジャッジをする審査員。優等3席おめでとうございます

岡山県は瀬戸内に位置する温暖なところで、北海道で言えば九月頃の気候にあたるはずだったので、滞在期間中二週間ほとんど雨で寒い日が多く、しかも台風がちょうど岡山県真上を通過した時は、バケツをひっくり返したような多量な雨に、あわや会場が水没寸前となり、一時騒然となるなど、とにかく雨の多い岡山全共でした。岡山県のキャッチフレーズは「晴れの国、岡山」のはずだったので、しかし、共進会比较審査の日が近づくにつれ徐々に雨は上がっていき、やはり、ここぞと言うときに雨が上がることで、「晴れの国、岡山」なのでしょう。

さて、中標津町農協からは佐々木昭雄さん生産所有のアースイースト デ コール ミント号が出場し、みごと第四部優等三席（序列三番）に入賞しました。中標津町農協の乳牛の質の良さを存分にアピールした事

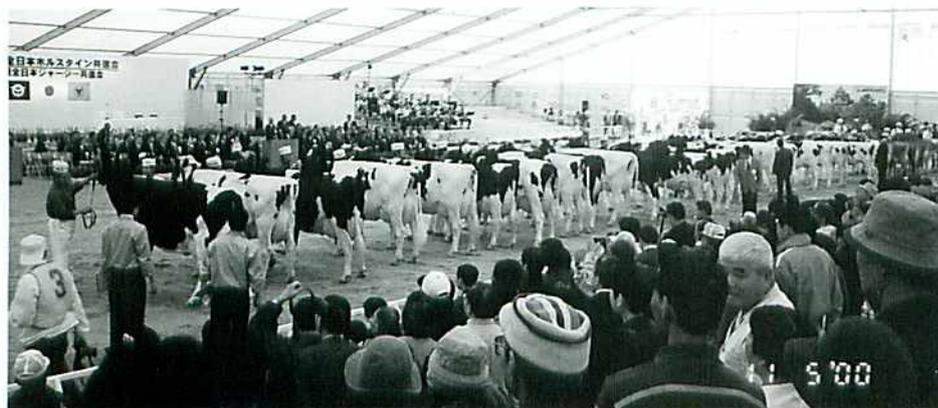


最高位賞に輝いたのは1039号のオラホーム プレンダ デュリーガルスター ET 出品者(岡山県)永礼淳一氏(本牛生産地・北海道)

と思います。大変おめでとうございます。

また、根室管内からは他に星野勇一さん（計根別農協）、大迫誠一さん（標津町農協）らも出場し、それぞれ一等賞、優等賞の上位入賞を果たし、管内の優秀を飾りました。

次回全国共進会は栃木県で行なわれるというのですが、さらなる乳牛改良と数多くの全共出場を果たし、中標津町農協の酪農が発展していくことを願っています。



勢揃いした上位入賞牛たち

平成13年度 加工原料乳 生産者補給金単価



二〇〇一年四月から、指定生乳生産者団体と乳業メーカーとの相対取引に移行する加工原料乳は、新たな補給金と経営安定対策で、生産者の所得と経営の安定を確保することとなりました。

新たな補給金単価の現行維持は、強く求めていた内容であり、生産費が下がったことから単価引下げが示唆される中で、要求と通りの結果となったことは、来年度以降の単価ベースになることや、今後の加工原料乳取引価格交渉の指針となるため評価できるものです。

限度数量の十三万トンの削減については、最近の需給動向などから、数量消化が難しい状況のため、やむを得ない水準と判断いたします。

また、生クリーム、チーズ対策の継続拡充がなされたこと、畜産環境対策の拡充、新たな肉用牛、養豚経営安定対策の措置、負債対策の継続など関連対策が充実されたことなど評価出来る内容となっています。なお、加工原料乳を加えた全用途別生乳の乳価交渉は、生産者団体と乳業メーカーとの間で、十二月より開始し、来年三月に終了することとなっています。

1. 平成13年度加工原料乳補給金単価等総括表

	12年度	13年度	対前年度増減
補給金単価	10.30円/kg	10.30円/kg	(前年同)
	(保証価格72.13円/kg) (基準取引価格61.83円/kg)		
限度数量	240万トン	227万トン	(▲13万トン)

2. 加工原料乳生産者経営安定対策事業

- ・補てん基準価格と取引価格の差額の8割を補てん
- ・生産者の拠出と国の助成の割合は1：3
- ・補てん基準価格は、61.83円/kg

(加工原料乳取引価格が補てん基準価格を下回ることとなった場合には、経営安定対策事業による補てんを実施するほか、所得の確保を図る観点から、これまでの乳価決定の経緯を踏まえ、適切に対処する。)

平成十三年度畜産物価格関連対策の概要

(線は新規・拡充・主要事項)

I 「新たな酪農・乳業対策大綱」実現のための牛乳・乳製品関連対策

一、市場実勢を反映した適正な価格形成の実現及び酪農経営の安定の確保並びに生乳の流通対策
(約三十九億円)

(一) 新たな酪農・乳業対策の実施状況のフォローアップ調査などを行うとともに、指定生乳生産者団体の再編整備等広域化を推進することにより、生乳共販体制の強化を図る。

(二) 広域指定生乳生産者団体の需給調整機能を強化するため、全国レベ

ルでの加工原料乳及び市乳全体での需給調整等生乳受託販売システムの確立を進めるとともに、生産者団体が行なう余剰生乳の効率的な処理などに対し助成を行なう。

二、牛乳・乳製品の加工・流通・消費対策（約二百九億円）

(一) 環境・衛生問題への対応を図りつつ、乳業の再編合理化を促進するため、新製品の開発などのための最新鋭の乳業施設の整備などを推進する乳業再編整備等対策事業を適切に実施する。

(二) 国産の牛乳類の消費の拡大を図るため、バターを中心とした乳製品の消費拡大、需要の伸び悩んでいる地域・年代などに着目した消費拡大、幼稚園、老人ホームなどでの牛乳の集団飲用の促進、バターを素材とする新製品開発など新たな消費拡大手法の開発などを一体的に実施する。

また、生乳使用割合の表示など新たな表示制度のPR、容器の色分けの試行的導入・検証を実施する。

(三) 生クリームなどの生産振興を図り、国産生クリーム等向け生乳の需要拡大のための助成を実施する（限度数量を超える加工原料乳が発生する事態に備え、六万トンの枠を確保）。また、国産ナチュラルチー

ズの生産振興を図るため、チーズ原料乳の生産を奨励するとともに、国産ナチュラルチーズの新製品開発及び知識の普及のための助成を行なう。

(四) 児童・生徒の体位・体力の向上と牛乳飲用習慣の定着などを図るため、学校給食への良質な牛乳の計画的な供給に対し、奨励措置を講ずる。

II その他対策

一、経営体・担い手対策（ゆとりある生産性の高い酪農経営の確立）（約五十二億円）

(一) 新規就農を促進するため、経営体研修の実施、研修受け入れ体制の整備を図るとともに、新規就農希望者などのデータベース化を行なうための措置を講ずる。

(二) 円滑な経営継承を図りつつ、畜産経営の健全化に取り組む新たな経営改善対策を講ずる。

(三) 長期的展望に立った地域酪農発展のため、法人化・協業化などを通じた合理的かつ体系的な住宅、畜舎、草地などの適正配置及び運営方法についての調査・検討を行なう。

(四) 労働時間の軽減及び周年拘束性の解消を図り、ゆとりある生産性の高い酪農経営の実現を図るため、

コントラクター（飼料生産受託組織）の育成、ヘルパー要員の養成・増員、酪農ヘルパー利用組合の運営の安定、酪農経営従事者の病氣・事故に際しての酪農ヘルパー利用の円滑化のための自主的な取組に対する助成を行なう。

また、酪農ヘルパーの利用拡大のため、酪農経営に対し、利用日数に応じた助成を行なう。

(五) 新たな酪農基本方針などについて生産者などへの普及・啓発を行なうとともに、酪農基本方針などの経営に関する指標を実践するモデル畜産経営体の施設などの整備、普及などを行なう。

(六) 生乳生産の大宗を育成すべき酪農経営に早急に集約し、生産構造を改善するための酪農経営体育成強化緊急対策事業を適切に実施する。

二、畜産環境対策の推進（約三百四十五億円）

(一) 家畜排せつ物の不適切な管理（野積み、素掘り）を解消するため、堆肥化施設や浄化処理施設などをリースするのに必要な機械・装置などの導入の促進措置を講ずる。

また、堆肥利用と土づくりを促進するための堆肥センター協議会の開催、堆肥の需給情報機能の強化、堆肥の成分分析・表示、堆肥散布サービスの推進、堆肥生産や

経営管理技術の研修による人材育成等堆肥センター機能の強化措置、広域流通促進のための機械・装置・ストックポイントなどの整備促進措置、食品残さの飼料化施設、新聞古紙などの敷料利用化施設、家畜排せつ物の良質堆肥化施設等資源循環型畜産システムのモデル的整備を講ずる。さらに、特別指導チームによる畜産経営に対する環境問題についての特別指導及び畜産経営の周辺環境の整備などを実施するとともに、家畜排せつ物処理を効率的かつ低コストで行なうための悪臭防止技術や浄化処理技術などの開発・研究に対する支援、有機畜産の検討を実施する。

(二) 畜産環境問題に適切に対応し得る飼料基盤に立脚した酪農経営を実施している生産者を支援するため、の対策を拡充する。

(三) 畜産廃棄物の円滑な処理を推進するための死亡家畜冷却保管施設の整備、化製製品保管施設の整備、不可食物などの堆肥化施設の整備などの助成措置を講ずる。

三、自給飼料の増産（約六十二億円）

自給飼料の生産コストの低減や品質の向上を図るため、堆きゅう肥の積極的な施用を通じた高位生産草地への転換などを促進する措置を講ずる。

るとともに、粗飼料生産基盤の拡充、稲わらなど粗飼料の供給や稲ホールクロップサイレージの給与実証展示に必要な経費について助成する。

また、公共牧場の再編統合の推進、広域的な利用体制の確保を図るとともに、日本型放牧を推進するための公共牧場などを活用した取組に対する助成、持続型草地畜産の普及のための措置を講ずる。

四、家畜改良の推進及び飼養管理技術の高度化（約十八億円）

生産コストの低減及び品質の向上を図るため、雌雄の産み分け技術の実用化を推進するとともに、優良雌牛から優良な後継牛の生産を促進するための交配、受精卵の採取、移植に対する奨励金の交付を行なう。

五、畜産経営対策

(一) 負債対策（融資枠（十三～十七年度）八百億円）

負債の償還が困難な大家畜経営及び養豚経営の体質強化並びに後継者の経営継承の円滑化を図るため、長期低利の借換資金の融通などを継続実施する。

(二) 肉用牛経営の安定対策

（約三百二十三億円）

① 肉用牛肥育経営の所得低下時にその経営安定を図るため、都道府県単位に所得の低下の程度に応じて、

経営の継続に必要な経費の補てんを行なう肉用牛肥育経営安定対策事業を実施する。

② 肉用牛の生産拡大を図るため、肉専用種について繁殖雌牛を計画的に増頭する経営体に対する助成を実施する。また、子牛価格低落時における繁殖雌牛の維持・拡大に対する助成を実施することとし、黒毛和種については前年と同様、子牛価格が三十五万円を下回った場合において、価格低落の程度に応じた助成を行なう。

(三) 養豚経営の安定対策

（約七十六億円）

① 養豚経営の安定を図るための地域肉豚生産安定基金造成事業を継続実施するとともに、各地域において展開される生産拡大、生産性向上などのための活動に対する支援措置を講ずる。

② 養豚の振興を図るため、優良種豚の導入促進、人工授精の普及定着、育種資源の確保、衛生管理の向上、優良な種豚の確保、普及の推進などに対する助成を行なう。

(四) 低コスト化の推進など

（約八十億円）

① 肉用牛の一層のコスト引き下げと生産基盤の安定化を図るため、乳用種の素牛育成及び肥育部門における生産性の向上と飼養管理技術の改善、乳用種牛肉の計画的な集

出荷、安定販売体制の整備を推進するとともに、省力的な繁殖技術の導入と効率的な肥育技術の定着の促進、肉用牛ヘルパー活動の推進などの措置を講じるほか、日本短角種等地方特定品種の生産、流通の安定、産直活動などの支援に対する助成を行なう。

② 平成十四年度末を目途とした専増産ふすま制度の廃止に伴い、代替飼料を利用した効率的な自家配合飼料給与技術の普及・安着を進める。

六、家畜衛生・畜産物安全対策

（約四十七億円）

(一) 豚コレラ撲滅の一環としてワクチン接種中止後の再発生に対応した生産者などによる自主的な互助制度への支援措置、豚コレラワクチン接種中止経営の衛生管理水準の向上対策を講ずる。

(二) 口蹄疫等海外悪性伝染病の発生に備えた生産者などによる自主的な互助制度の創設に対する支援措置を講ずる。

(三) ヨーネ病、オーエスキー病の清浄化、家畜集合施設及び生産地における共同利用車両消毒施設の整備、組織的予防接種を推進する。

七、食肉の加工・流通・消費拡大対策

（約百一十億円）

(一) マスメディアなどを活用した広報活動、消費者向けポスターなどの作成、料理コンクールなどの開催、食肉の栄養に関するデータの集積、各種イベントを通じた食肉の情報提供、店頭での表示など情報提供の実態調査、食肉などを用いた加工品の新規需要開拓調査、高齢者向けの食肉などを用いた新製品開発、普及などを実施する。

(二) 国産食肉の市場競争力の確保を図るため、食肉処理施設の再編合理化、衛生水準の高いモデル的な食肉処理施設の整備推進に対する助成を行なう。



円満な取り決めで経営移譲。



第21回家族協定調印式

清原さん

第二十一回家族調印式（中標津町農業委員会主催）が十一月二十四日、中標津町役場会議室で開催され、経営移譲を受けた十組の家族（二家族欠席）が、農業委員、関係機関が立ち合う中、農業継承者が将来にわたって農業経営に精進できるよう、家族間で経営の全権を移譲することに、円満な取り決めがなされました。

調印式を行なった方々。

佐藤フサ子さん
高橋 昌信さん
齊藤 哲雄さん
中本 トモさん



第21回家族協定調印式

多田さん



21回家族協定調印式

遠藤さん

清原 賢一さん
多田 俊夫さん
本多 萌さん

中浦 健雄さん
遠藤与畏二さん
松本 正通さん



高橋さん



第21回家族協定調印式

中本さん



21回家族協定調印式

松本さん



佐藤さん



齊藤さん

畜農技術

寒さ対策と換気

北根室地区農業改良普及センター

十二月に入り、寒さも本格的になってきました。寒くなると「牛舎内の水槽が凍る、あるいはバーンクリーナが凍る」、「搾乳がづらい」と言う理由から牛舎を締め切る場合が多いようです。しかし、このことが乳牛にとって大きなストレスになっています。

一、パドックでの管理

生乳生産に影響を及ぼす気温の範囲はマイナス一三度から二七度といわれています(表一)。このことから乳牛(ホルスタイン種)は比較的寒さには強いようです。

搾乳以外の時間、あるいは昼間の数時間でもパドックなどの低温環境下にさらされる場合は、体を維持するための養分要求量が増加します。例えば、日乳量が二十七割の乳牛では、マイナス一〇度で一〇割、マイナス二〇度で二〇割養分要求量が増加します。このことよりマイナス一〇度以下の低温時には、濃厚飼料の給与比率を高めることが推奨されます。

表二に牛の風・寒冷指数について

示しました。この表より牛は寒冷時の風速によって、実際の気温よりも寒さを感じていることがわかります。このことより気温だけでなく、風速も考慮して体の維持のための養分増給を考えましょう。

二、牛舎内の管理

これほど気温の下がらない牛舎内でも

①しばらくパドックにいて体が濡れている

②牛床の敷料が湿っている

③牛舎内のすきま風が牛体に直接当たっている

これらの場合、牛は体温を急激に下げられ、大きなストレスを感じています。パドック内に風雪を避ける場所を設けたり、牛舎内のすき間風が直接牛体に当たらない工夫や、濡れた敷料のこまめな交換を心がけましょう。

また、低温時には水槽などの給水施設が凍結し、十分な飲水料が確保できなかつたり、凍結したサイレージの給与などによる嗜好性の低下も、乳量減少の原因となりますので注意しましょう。

しかし、たとえ寒い冬でも牛舎内に新鮮な空気は必要です。換気をすることによって牛舎内の汚れた空気と湿気を舍外に追い出します。

冬の換気の方法として

①風下のドアを開放する
②比較的気温の高い昼間に換気を行う

③換気扇を使って強制換気を行なう
いずれの場合も牛舎内の気温がマイナスにならないことが重要です。

また、バーンクリーナやウオータークップなどが凍結するようならば、

断熱対策の見直しが必要です。

表2 牛の風・寒冷指数(Webster)

無風時の 気温℃	風速を加味した実効温度℃		
	1.65※	3.35	5.50
10	2	-2	-4
0	-9	-14	-17
-10	-20	-26	-30
-20	-32	-38	-44
-30	-43	-52	-59

※風速、m/秒

表1 家畜の適温域と生産環境境界(三村氏 1981)

	生産環境境界		
	適温域	低温	高温
搾乳牛(ホルスタイン)	0~20℃	-13℃	27℃
育成牛	4~20℃	-10℃	32℃
哺乳子牛	13~25℃	5℃	30~32℃

良い品質を保って、 産地間競争に勝残る。

役員視察

研修報告

去る十一月二日〜五日までの日程で、役員研修が実施されました。今年、岡山県瀬崎町で開催された第十一回全日本ホルスタイン共進会に出陳された佐々木昭雄氏の激励応援と共に視察。また、今後の乳製品工場の運営に参考に資するべく、早くから直営プラントを持ち、名実ともに鳥取県の酪農生産団体となった大山乳業農業協同組合視察。そして、中標津産大根が、試験栽培の時期から指導をうけ、そしてその大部分をグリーンパートナーを通じて、取扱っていたらいたる京都青果合同株式会社を視察して来ました。

管理購買委員長理事 藤井 美智夫



まず空路米子空港より、鳥取県に入り、最初の視察先である大山乳業農業組合を訪れ幅崎組合長と懇談し、工場を案内していただきました。大山乳業は、昭和二十一年に伯耆酪農農業協同組合として出発し、また同時に処理加工施設を建設し、市乳、バター、乳飲料の販売も開始しました。昭和四十一年周辺の酪農組合と合併して、現在の大山乳業農業組合となり、同時に鳥取県の生乳生産者団体の指定をうけ、事業区域が県下全域となり、正組合員四百六十人、准組合員八百五十四人と二団体の規模となりました。乳牛飼養頭数は、約一万一千四百頭、生産者三百戸で五千七百頭と、平均百五十頭と全国的にも小規模です。直営処理工場は本所（東伯町）と、鳥取工場の二つがあり、本所では、市乳、加工乳、乳飲料、バター、粉乳、煉乳、生クリーム、アイスクリーム、発酵乳、菓子などを製造し、鳥取工場は市乳、加工乳、乳飲料などを製造しています。そして、それらを販売するための業務を行なう営業所、流通センター、傍系会社が中国地方、北九州、京阪神に多数あります。事業取扱高は、指導購買事業約二十億円（飼料、資材）、加工販売事業約百三十億円の計百五十億円とのことでした。年平均ブルー乳価は九十一円／詰で、良質乳の生産奨励を実施しており、高く売るため宅配に力を入れ、ピンを主体し他のメーカーよりやや高めに販売し

ているとの事で、「酪農家自らの手で生産し、処理し、消費者へ届ける」を理念に、「白バラ牛乳」として西日本で販売されています。長年かけて築きあげてきた技術の蓄積と、独自の販売網は、やはり大きな強味ではないかと感じました。

翌日、岡山市内のホテルから、全共が開催される瀬崎町に向かいました。田圃を埋め立てて整備された会場は、前日までの雨のため水はけが悪く、足元を気にしながらの会場巡りでした。また、開場では多彩なイベントが繰り広げられ、多くの人たちが楽しんでいました。当日は、第一部、第二部、第六部、第七部、第八部、第九部の審査が行なわれ、第四部に出陳される佐々木氏は翌日という事で、出場はありませんでしたが、牛舎に激励に伺い、健闘を祈りました。日程の都合上、当日だけの共進会視察でしたが、全国から集まった、優秀な牛たちの緊張感ある熱戦を見学することができました。佐々木氏の結果については、見事、優等賞の三番手ということで、大変すばらしい成績をあげられました。このことは、佐々木氏の長年の乳牛改良に対する努力と熱意の賜物であり、本人は勿論、それを支えられた奥様を始め、ご家族の喜びもひとしおではないかと思えます。心からお祝い申し上げます。

翌日、中標津産大根を出荷している市場のなかで、一番取扱い高の多

残念な出来秋と 新しい年へ。



中標津町農協代表理事組合長 高橋 勝義

今年も残すところあと僅かとなり、組合員の皆様にとりまして、二十世紀最後の年の様々な出来事に、思いを巡らせていることと拝察致します。さて、春からは不順な天候のもと、農作業をスタートした年でありましたが、中間での成育調査では思いのほか成績も良く、豊かな収穫を期待させる年でもありました。

しかし、猛暑で苦労した昨年と比べ、夏は日照不足で湿度が高く、九月には長雨曇天、蒸し暑さも続き、病害虫の発生や、馬鈴しょの二次成長、ビートの糖分不足など、特に畑作物に大きく影響を与え、販売価格・収量共に予想を下回る結果となりました。

した。次年度に向け、新たな取組みの検討が必要と考えております。今月は、営農計画の作成時期ですが、今年度の成果、反省、課題を整理し、新年度の計画樹立に活かして戴きたく思っております。

二十一世紀に向けて、国の制度、政策の改革が打ち出され、具体的移行へと進みつつありますが、自らの経営を見つめ、また自らの目標を定め、力強く前進してもらいたいと願っております。農協としても、時代の変化に対応し、将来を見通した支援、指導の強化を図り、組合員皆様の負担に添えてゆく所存です。

過日、地区別懇談会を開催し、農

協の事業概要、クミカン状況、中山間地直接支払制度の取り組み事項など報告させて頂きました。

農協の事業収支については、ほぼ計画に沿った進捗であります。下期に向け、更に計画以上の成果を実現出来る様、役員共々に努力してまいりますので、今後のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

寒さも一段と厳しく、本格的な冬を迎えるこの時期、風邪などに注意され、健やかな新年を迎えることが出来ます様、また来年こそは良い天候に恵まれますよう心より祈念し、私の今年の思いの一端と致します。

い京都青果合同株式会社を視察しました。青果市場ということで、朝六時に、グリーンパートナーの高田社長と共に市場を見学しました。まず驚いたのが、縦横無尽に動き回る何十台という電動式荷車（一畳ほどの荷台がついた充電式）のブレイキの音、エンジン音でした。所せましと並べられた多種多量の野菜の間をぬうように、かなりのスピードで野菜を運んでいました。

またセリ場では、活気あるセリ人の独特の声で小物野菜がセリにかけられていました。大根は時期的に、北海道産から本州物への移行期との事でした。京都は、加工用つけもの主産地ということで、取扱い高は日

本でトップということでした。この市場での取引形態としては、セリ中心ではなく、予約相対（予約注文による取引）での取引が多くなってきたりしています。大口の市場外での流通が増大したため、卸売市場での価格形成が困難になってきているとの事でした。市場視察後、事務所京都の窪田常務、前田部長、そして高田氏を交え懇談しました。窪田常務から今年の青果の状況、今後の見通しについての話があり、今年全般を通して、国内産がだいぶついているのに、輸入物が大量に入ってきて、価格が安く、この傾向は続くとの事でした。しかし、少しでも良い物を作る努力は続けていた

きたし、良い物はそれなりの評価がしやすいし、セリについては、できるだけ残していききたいとの事でした。また、前田部長からは、今年の中標津大根の評価として、今年は道内どこでも天候の影響で品質が悪かったが、それに対する対応、対策が



早め早めについてたものが、それなりの品質を保てたのではないかと。いずれにしても品質が安定していれば、それなりの安定した価格帯が得られるのではないかと話してました。前田氏は今春、栽培講習会に中標津にこられた事もあり、中標津の生産者の熱意を感じているし、期待もしているし、そのためのバックアップを農協としても取っていただきたいし、道内の産地間競争に勝ち残っていた。だきたいとの激励をいただきました。その日の夕方、京果の別館にて懇親会がもたれ、大変有意義な日を過ごす事ができました。

以上、簡単ですが報告とさせていただきます。

絵本大好きな元気っ子。

北進地区 遠藤勝美・晃子さんご夫妻 次男 定雄^{さたお}くん(一歳九カ月)



ミニカーは種類もいっぱい持ってるとよ



電池を入れに行かなくっちゃー

みなさん、こんにちは！今月の人気者は、北進地区にお住まいの遠藤定雄^{さたお}くんです。

定雄^{さたお}くんは、男の子二人兄弟で、お兄ちゃんがいるんだよ。お兄ちゃんのお兄ちゃんとは、たまにはケンカもするけど、いつもは絵本を貸してくれたり、とってもなかよしなんです。そのせいか、定雄^{さたお}くんは、絵本が大好きなんだよ。動物絵本や乗りもの絵本などが、今の一番のお気に入りとか。本の中の絵を見て「これ何？」とママの晃子^{あきこ}さんが聞くと、「「ローラー」と元気に答える定雄^{さたお}くん。まだ二歳前とは、思えないほどしっかり者の定雄^{さたお}くんだね。

また、定雄^{さたお}くんは、電池の入っていないおもちゃを発見。ママの晃子^{あきこ}さんが「定^{さたお}くん、電池もってきてー」と言うと一目散、電池を取りに行く

定雄^{さたお}くん。そして、きちんと電池をセットするんです。さすがは男の子だね。ちゃんと覚えてるんだね。

そんなしっかり屋の定雄^{さたお}くんは、おじいちゃんの直行さんが大好きなんです。おじいちゃんが外から帰ってくる時、「じいちゃん！」と玄関まで迎えに出たり、おじいちゃんの後をちょこちょこついて歩く定雄^{さたお}くん。そして、遠く離れた場所でお仕事しているおじいちゃんを見つけると「じいちゃん」と呼ぶ定雄^{さたお}くん。とってもかわいいね。おじいちゃんのお尻も思わず、下がります。家族みんなに愛されて、すくすく健やかに大きくなあれ。

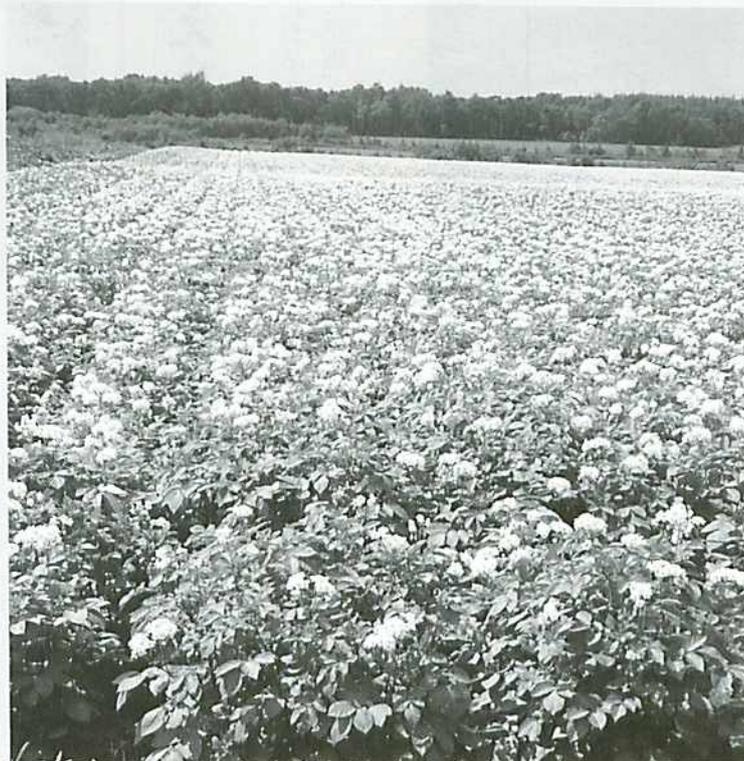
わが家の
人気者

高温・多雨により 収量予想を大幅に 下回る。

てん菜の生産実績

平成十二年産てん菜の出荷が十月二十三日から始まり、十一月十六日で終了致しました。高温・多雨の影響で、根腐病などの発生により、収量予想を大幅に下回り、平均収量が前年同期より四四・五四％（前年五一・二九％）平均糖分一六・六割（前年一七・〇割）と収量・糖分ともに前年を下回る結果となりました。

でん原馬鈴しょの 搬出、順調に終る。



中斜里でん粉工場へのでん原馬鈴しょ搬出が九月二十二日から始まり、順調に出荷が行なわれ、十一月九日（四十八日間）に終了しました。今年は五月の好天で播種作業が早く終了しました。しかし、七月初旬の大風で茎が倒れ、その後の成育にも影響が出ました。九月の高温多雨により疫病の発生など防除にも限界があり、収量減にもつながりました。また、でん原出荷には、生産者のご協力により順調に搬出する事が出来た事に厚くお礼申し上げます。でん原出荷の実績は二十四万四千八百三十七俵、でん粉袋数は十二万九千五百六十二袋の結果となりました。



3カ月予報

十二月から二月までの概要

三カ月平均気温は、平年並か高い可能性が大きく、その確率はともに四〇割です。

可能性の大きな天候見通し

十二月

低気圧の通過後、冬型の気圧配置となり一時的に強い寒気が入るでしょう。平年と同様に日本海側では曇りや雪の日が多く、その他の地方では晴れる日が多いでしょう。

一月

冬型の気圧配置となり一時的に寒気が入りますが、長続きしないでしょう。日本海側では平年に比べ曇りや雪の日が少なく、その他の地方では平年同様晴れる日が多いでしょう。気温は高いでしょう。

二月

平年に比べ、冬型の気圧配置は長続きせず、気温の高い日が多いでしょう。日本海側では平年に比べ曇りや雪の日が少なく、その他の地方では天気は周期的に変わるでしょう。

三カ月間降水量は平年並でしょう。



ファンに支えられた中標津の乳製品とジャガイモ。

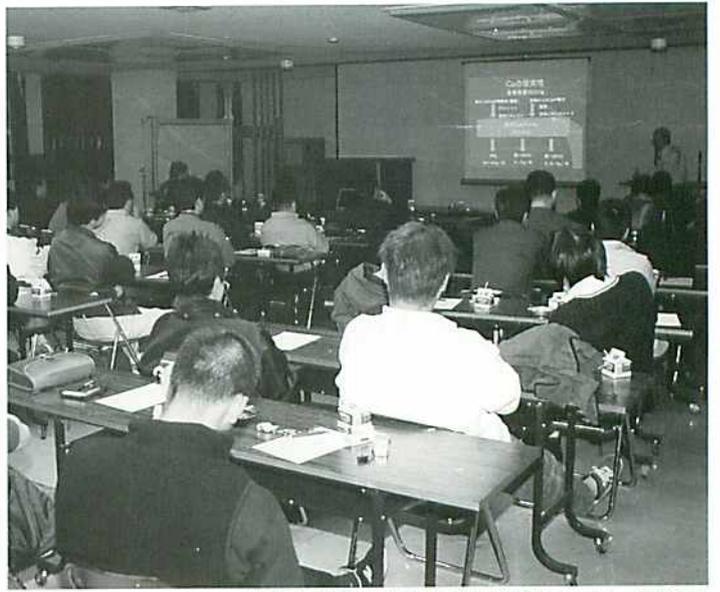
北海道物産展に出展

中標津の乳製品とじゃがいもを北海道物産展に出展、販売を行ないました。

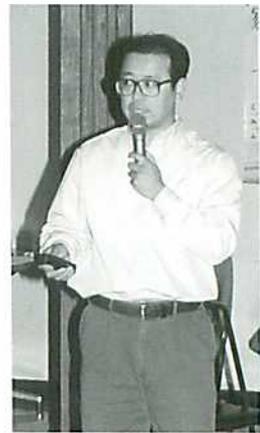
- 西武百貨店池袋店 (九月二十七日) 十月三日、四年目)
- さいか屋川崎店 (十月四日) 十月十日、六年目)
- 横浜京急百貨店 (十月五日) 十月十日、四年目)
- さいか屋横須賀店 (十月十八日) 十月二十四日、初)
- 札幌三越ホクレン収穫祭 (十月二十四日) 十月三十日、六年目)
- 川崎市市民祭り (十一月三日) 十一月五日、十三年目)

は、例年になく暑さが続きソフトクリーム、アイスクリームなど冷たい乳製品を求める客で長蛇の列ができ、牛乳・珈琲牛乳のコップ一杯売りなどが好評で、渡すのが間に合わないほどでした。お隣で販売していたグリーンズ北見では、中標津産伯爵ジャガイモを使ったコロケを販売しており、こちらも大変好評でした。今回初となるさいか屋横須賀店では、お客様だけでなく社員の方々にも評判が良く、今年度併設販売していた他地域産のじゃがいもをやめ、

取扱い規模・面積は少ないですが、来年度は中標津産じゃがいもで独占的に販売していただけるお話しをいただきました。その他会場では景気の影響を反映してか、各店の物産展総売上げが軒並み昨年の三割減なのに対して、中標津コーナーは一割減にとどまりました。毎日のように来てくださるお客様もおり、なかしべつ」のファンに支えられているんだと、とてもうれしく思いました。これから多くの方々に知っていただきファンを増やすよう、商品づくり、お客様への対応・PRなどしっかりとしたいと考えてはならないと思えました。



「乾乳牛管理と高泌乳牛の維持管理について」の勉強会



中標津乳牛改良同志会 (会長久保剛) の今年度勉強会が十月二十四日、十一月二十一日の両日、J A 大会議室にて開催されました。第一回目は酪対の協賛をいただき、「乾乳牛管理と高泌乳牛の維持管理

について」をテーマに、講師を黒崎尚敏氏 (トータルハードマネージメントサービスマネージャー) を招き、環境から栄養面までの説明がなされ、また、行なってほしいとの参加者から要望が出ていました。二回目は「世界に於ける改良事情」をテーマに、荒木敏彦氏 (J、H、B、S) を招き、世界の酪農情勢、種雄牛情報について行なわれ、計根別同志会からも参加されていきました。来年度の勉強会も期待していただきたいと思いますので、どんどん参加下さい。

環境から栄養・世界の酪農情勢の勉強。

中標津乳牛改良同志会勉強会



「世界に於ける改良事情」勉強会

冷蔵庫を整理 しよう

家庭でできる保存

北根室地区農業改良普及センター

暮らしの

知恵袋

▼食品の冷凍（前処理）

食品を冷凍するには、以下の注意が必要で、食品を凍結するのは、品質変化を防止するためなので、前処理が必要です。食品の洗浄、切断、不可食部の除去などをあらかじめ行なっておくと調理するときに便利です。ほとんどの野菜類は、加熱処理をしてから冷凍すると良いです。

野菜の中には、加熱処理をしなくても、色、風味の劣化がほとんどない品目があります。例えば、ピーマン、キュウリ、ニンジン、パセリなどです。十分に洗浄してから冷凍しましょう。果実は、砂糖を加えることで、加熱による風味低下、肉質劣化を防ぎます。

水産物は、洗浄や塩水処理で臭みを除去します。

▼食品の冷蔵

短期貯蔵や凍結による変質の大きい食品に、冷蔵を利用します。

肉や魚などは、ビニール袋に入れ、冷蔵庫の中の他の食品に肉汁などがからないようにしましょう。

青果物の中には、一定温度以下で、ある期間貯蔵すると低温障害を起すものがあります。

温帯もしくは熱帯原産のサツマイモ、バナナ、ミカン、カボチャ、トマト、パイナップル、ナス、オクラなどです。

省エネのための上手な使い方

▼熱いものは冷ましてから

食品を熱いまま入れると、庫内温

度が上昇し、周りの食品の温度も上がります。熱い物を入れると電気代がアップしてしまいます。

▼ドアの開閉は少なく、手早く

開閉が多いと冷気が逃げ、消費電力量が増加します。

▼食品の詰め込みすぎは禁物

食品を詰め込みすぎると、冷気の流れが悪くなり、庫内が均一に冷えないばかりではなく、余分な電気を消費します。

▼冷蔵庫の周囲に適当な隙間を開けて

周囲に隙間がほとんど無い状態で設置すると、放熱が出来ず電気のコストになります。一般的に冷蔵庫の周囲は少なくとも左右〇・五（二センチ、上部五〜三センチ）の隙間が必要です。

▼傷んだパッキングは取り替えて

傷んでいる隙間から冷気が漏れて、電気のコスト使用になります。名刺など薄い物を挟んでズリ落ちるようならパッキングの取り替え時です。

▼冷蔵庫の背面もお掃除を

冷蔵庫の放熱性を高めるため、背面の通気孔のホコリなどを年一〜二回は掃除すると効果的です。

冷蔵	適温		項目	保存法
	温度	項目		
冷蔵	+7℃	ワイン	白ワインやシャンパンを飲み頃に冷やすお米の保存に適している	
	+3℃	飲料野菜	飲み物や野菜に適している野菜はラップしておくが良い	
	+1℃	乳製品 麺類	豆腐など凍らせたくない食品に適している	
水 温	-1℃	魚介類 肉製品	魚、肉、その加工品に適している 刺身などの風味や食感を保つ	
冷凍	パーシャル	-3℃	魚介類 肉製品	煮たり焼いたりする物に適している
	ソフト冷凍	-8℃	肉製品	カチカチに凍らせないので約1〜2週間保存出来る
冷凍		-17℃	惣菜 アイス クリーム	毎朝の弁当用の惣菜など、出し入れが多い食品に適している 保存は1カ月が目安

主な野菜・果実の貯蔵適温

種類	貯蔵適温
バナナ	13~15
サツマイモ	10~13
カボチャ	10~13
パイナップル	5~7
トマト	4~10
ミカン	4~7
リンゴ	-1~1
モモ	4
タマネギ	0
キャベツ	0
ニンジン	0



女性部の方々と交際の分科会

「CHALLENGE」 始めよう新たな農業のために もっと農業の良さを アピールしよう。

根室地区JA青年部大会

青年部部长 清原孝志

平成十二年度根室地区JA青年部大会が十一月十七日、中標津町寿宴を会場に開催されました。今大会では「CHALLENGE」を始めよう新たな農業のために」という大会テーマのもと午前中、北海道根室家畜保健衛生所主査・加藤一典氏を講師に迎え、「畜産を取り巻く最近の家畜衛生」という事で、口蹄疫の発生と防疫・発生現地の活動記録―そして生産現場におけるHACCP概念に基づく、衛生管理という内容の講演がありました。しかし、講演時間が短く満足のいく内容でなかった事がとても残念でした。午後からは昼食を挟んで分科会、JA青年の主張大会、全体討議と続き分科会では第一分科会「我々を取り巻く組織の再編について」、第二分科会「市場原理の導入に伴う求められる消費者ニーズについて」、第三分科会「食品の衛生管理と農業の環境保全について」、第四分科会「これからの男女共同参画社会への対応について」というテーマで、それぞれ難しい内容ではありましたが、充分討議がなされ全体討議へつなぐ事が出来たと思います。また、今回の青年の主張では発表された人の四分の三人が、お婿さんや新規就農者でした。彼らを見て思った事は、いつも僕達農業者は「農業はとて大変だ」と言っていた様に思います。大変な事ばかりではないはず。これからは「もっと農業のいいところ」をアピールしていこうと、大会を終えて思いました。今回忙しい中参加してくれた部員、女性部の方、本当にご苦労様でした。ありがとうございました。

各支部熱戦でもり上がった大会

青年部ミニサッカー大会 ―― 遠田 勝



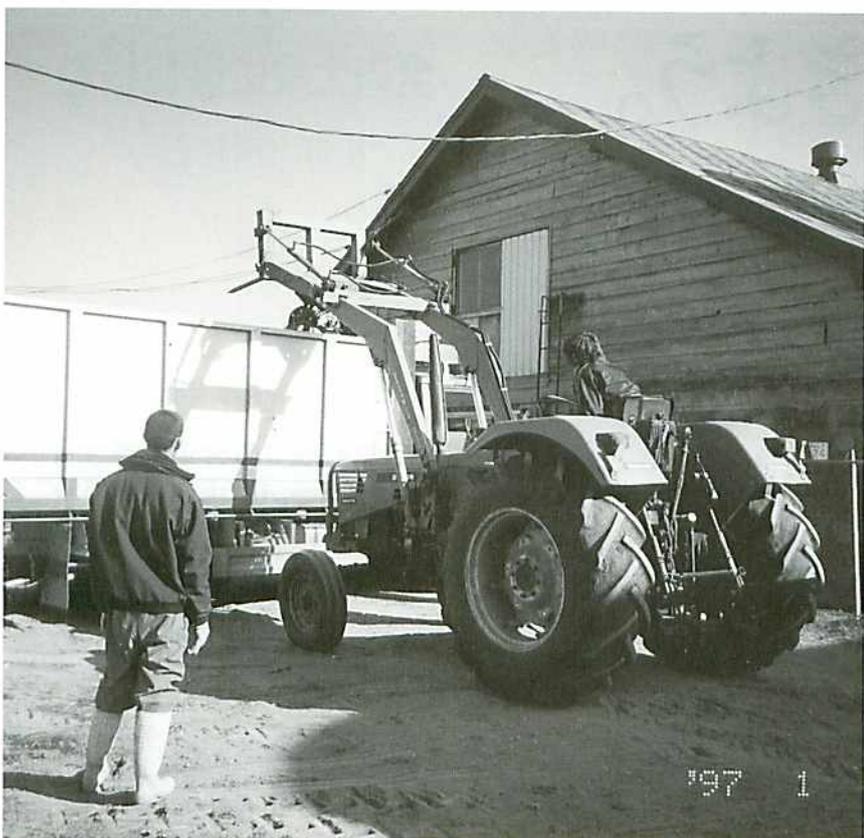
十一月十八日、青年部ミニサッカー大会を中標津町体育館で行ないました。当日、朝から雪がチラツク天候の中、三十分遅れで試合を行ないました。試合は、支部対抗戦に行ない一チーム五人で前半五分、後半五分、各支部とも白熱した試合で、大変盛り上がった大会になりました。皆さん、次の筋肉痛になりませんでしたか？
なお、上位三チームは、一位・俵橋、二位・当幌、三位・俣落でした。お疲れ様でした。



今後も 環境整備を継続。

青年部俵橋支部 中川 将

青年部俵橋支部は、十一月六日に今年度二回目の環境整備事業を行いました。
今回はダンプ三台分のラップ類と金属、農機具類の産業廃棄物を集め処理場へ運びました。
この事業も今年で三回目となり、我々部員も回を重ねる度、試行錯誤しながら、作業がスムーズに行なえていると思います。
今後もこの事業を継続して行きたいと考えています。



効率よく 作業ができました。

青年部武佐支部 丹羽 隆 司



十一月十五日に武佐支部の環境整備を行ないました。
今年はいろいろと事情があり、例年よりかなり少ない、トラック二台分のラップビニールなどを運びました。
積み込み作業は前日のうちにほとんど終わっていたので、午前中には作業を終了させることができました。
今年、ラップビニールなどを五百詰のバッグにまとめて詰めて運ぶなどしたので、効率よく作業ができました。来年以降も、作業がスムーズに進むように、各自で気を付けたいと思います。

一人ひとりの夢をもっていきよう。

全道大会に参加して

井口 伊津子



第45回 J A 全道女性大会、北海道家の光大会が11月8、9日の両日にわたり、札幌定山溪ホテルミリオートを会場として、参加者600人で行なわれました。

当女性部より、横田部長、事務局、そして私の3人で参加しました。

一時から開会、テーマ「21世紀はもうすぐ生き活きパートナーシップフォーラム」が始まり、男女がみつめ合い連れそって行ける力をつける、また、一人、ひとりの夢を持って生きていきたいと思いますと言う主旨で話し合いが行なわれました。男女共同参画については、お互い助け合ってよきパートナーであってほしい。仲間作りの視野をもっともつと広げようなど、パネリストの四人の方からの話しもまだまだ沢山出ていました。

発表会では、活動体験発表、農業経営事例発表、家の光活用道代表発表が、十七時半まで行なわれました。十八時三十分より、全体懇親会が始まり、他の地区よりの歌や踊りの出し物を見ながら食べて、飲んで、また、大笑いしながら、短い時間ではありましたが、とても楽しいひとときをすごしました。

二日目の九日は八時三十分より各種表彰から始まりました。講演「二〇二〇年農業の時代がやって来る」、相馬暁さんの話がありました。物は自分達が自ら作り出さなければいけない。ゆきひかりはアトピーが治る米だとの話、食品はいつでも安全性、おいしさを選ぶのが一番大事なことではないかとの話でした。

十時三十分より本大会が始まり、



十二時四十分閉会となり、さっそく根室地区は待ってるバスへ乗りこみました。外は昨日からの雪で真っ白、寒さ感じる中で昼食をとりながら、バスは丘珠へとまっしぐら。あわただしい日程での大会でしたが、参加させて頂きましてありがとうございます。

ハーブで仲間づくり。

北根室地区農村女性講座



トーフだんごは飾りつけがお見事でした

十一月二十七日、普及センターが主催する、農村女性講座がしるべつとを会場に行なわれました。当日は、北根室三丁Aから集まった、約四十人の参加者が、ハーブの染め物に挑戦。講師は、計根別地区で「まきばのハーブ」の代表をされている末広香さん。
 ハーブを煮だし、輪ゴムで絞りの模様が入った世界に一つしかない染め物を完成。また、ハーブ盛りだくさんの料理講習は、どこかレストランの季節のコースを頂いているかのようでした。また、テーブルセッティングや、ハーブティーの楽しみ方、アロマテラピーまで、末広さんのアイディア溢れるお話しに、参加者も「とっても勉強になった、一人ではできない事も、グループであればできるかも」と、素敵なエールをいただきました。



ハーブ染めの色はやわらかで心和む



「押し花絵」の研修発表を行なう工藤ヨウさん(右)

グループ活動って楽しいね。

ねむろ農村女性フェスティバル

十一月一日、根室支庁主催の「ねむろ農村女性フェスティバル」がしるべつとで開催されました。今回のフェスティバルは、毎年、札幌で開かれていた全道農村女性フェスティバルのねむろ版として、初めて開催。

リース作り、料理講習、押し花絵、井戸端会議と四コースに分かれ、研修会を行ないました。それぞれの研修会は、管内で活動する八つの女性グループが、講師役を行ない運営しました。押し花絵作りを担当した、俵橋高台地区の「稔り会」代表工藤ヨウさんは、「準備は大変でしたが、参加した皆さんが作品を完成させ喜んでくれたのが嬉しい」と話し、グループ活動の楽しさを語っていました。



展示交流会も大盛況

クリスマスに 間に合うかしら？

女性部パッチワーク教室



ひと針、ひと針といねいに刺していきます

今年で五年目となる女性部パッチワーク教室。今回も依橋・大西ふみ江さんを招いて行ないました。参加者は、年々、めきめきと腕を上げ、今年は「クリスマス・タペストリー」に挑戦しました。当初計三回のコースとして計画していたものの、あまりの大作に四回として行なわれました。参加者の作品は、オリジナルの生地に変えたり、クリスマスらしくアレンジを加えるなどして、作品を仕上げていました。最終日は、十二月十三日、「クリスマスまでに間に合うかしら？」との声も。みなさん！がんばって下さいね！



おしゃべりしながらも、とても楽しいね



長〜い籐に最初は苦戦(海老子先生・右)

つくる楽しさ…多彩な作品。

女性部籐細工教室

十月七日から、五回のコースとして開催された「籐細工教室」。講師は、中標津町在住の籐芸家、海老子洋子先生を招いて行なわれました。

第一回目は、「なべしき」に挑戦。参加した二十一人の部員は、慣れない籐編みに悪戦苦闘。籐は一見どれも同じ堅さに見えますが、一本いっぽん微妙に堅さが違うとか。海老子先生の丁寧な指導で、全員が作品を完成する事が出来ました。参加した部員は、「すごい集中力が必要だし、形のない所から造り上げるのが、とても楽しい」と話す。今年も、花かご、帽子、クリスマスベル、そして、地元の素材「つる」で作るかなどに挑戦。来年も開催予定ですのでお楽しみに。



模様あみを折りませ、すてきな作品に

平成13年度 別海高等学校 農業特別専攻科学生 募集のご案内

●専攻科とは

専攻科は、高等学校を卒業した後継者や新規就農者が引き続き家業に従事しながら酪農経営や技術を学び、人間的な成長を助け、仲間づくりをするところです。

〈酪理実践〉

21世紀の酪農後継者をサポートします！

●単位制の導入

自分の受講したい科目を自由に選択して単位を修得するシステムです。開講科目は、酪農に関する専門科目、教養科目、専攻科目（ゼミ）があります。また、開講時間も午前10時50分から午後2時10分までなので、朝夕の乳牛の管理作業に従事しながら学習できます。

●自家の経営に結びついた学習

自家の草地、乳牛に関する事柄をゼミナールごとに分かれて取り組みます。また、農業簿記による経営診断も行ないます。夏季の農繁期（6月～8月）は授業がありません。

●先端技術に対応した学習

コンピュータを用いた経営管理などを取り入れた実践的学習ができます。

●国内外の実習

在学2年目に希望に応じた条件（地域・規模など）で実習を行なうことができます。（国内・ニュージーランド・欧米など）別海町研修補助金制度を利用できます。

学生募集要項

- 修業年限 2年
 募集定員 酪農経営科 20人
 出願資格 ・平成12年度高等学校卒業見込みの者
 ・酪農の基礎技術を学びたい方
 ・新規就農を考えている方
 出願受付 平成13年1月15日(月)～1月30日(火)正午
 出願書類 入学願書 健康診断証明書 調査書
 入学検定料 農業経営調書

※入学書類一式は北海道別海高等学校事務室に用意しています。

- 検査日 平成13年2月6日(火) 作文・面接
 検査場所 北海道別海高等学校農業特別専攻科
 ※詳細については、別海高校農業特別専攻科
 〒086-0214 別海町別海緑町70-1
 ☎01537(5)2053までお問い合わせください。



ピンクのしゃりが模様のポイント

初心者でも上手にできたよ。

フレッシュユミズ・ベーコン&巻き寿司づくり

十一月三十日、フレッシュユミズ、ベーコン&絵まき寿司づくりを行ないました。横田純子部長を講師に十五人が集まりました。

まずは、十日間ほど前にスパイスや味付けした豚肉を熱処理し、温くんしたものを準備。ディーゼルオイルの缶を加工したくん煙箱で約二時間半、くん煙しました。くん煙の合い間に巻き寿司を作りました。

子供達の大好きなソーセージやチーズを使い、花の模様の巻き寿司など、どれも見た目も味もバッチリのものばかり。

「これで学芸会や運動会のレパトリーが増えたかな」、「子供も喜びそうだね」などと話していただきました。ベーコンはちよっぴり焦げてしまったものの、お味は最高でした。



横田風ベーコンの味つけのポイントを伝授

お歳暮セットの取りまとめ

日頃より乳製品工場には、ご理解あるご協力をいただきありがとうございます。

今年も乳製品工場と牧舎製品のお歳暮セットの取りまとめを実施することといたしましたので、ご用命くださいますようご案内いたします。



Aセット



Bセット



Cセット



Dセット

ご紹介セット

品名	セット内容	価格	送料
Aセット	ケフィアオーレ 500ml×4本 珈琲牛乳 250ml×6本 紅茶牛乳 250ml×6本	¥2,000	北海道 ¥800 関東・中部以北 ¥1,300 関西以南 ¥1,800
Bセット	ケフィアオーレ 1,000ml×3本 珈琲牛乳 1,000ml×3本	¥2,100	北海道 ¥800 関東・中部以北 ¥1,300 関西以南 ¥1,800
Cセット	レアチーズケーキ 140g×1個 アイスクリーム 120ml×8個 (バニラ・コケモモ・ヨモギ・フキノトウ各2個)	¥2,500	北海道 ¥1,100 関東・中部以北 ¥1,800 関西以南 ¥2,100
Dセット	クッキー 18個入り×3個 (コケモモ・チーズ・カボチャ各1個) サブレ 10枚入り×1個	¥2,500	北海道 ¥800 関東・中部以北 ¥1,300 関西以南 ¥1,800

上記価格：消費税別途



一日皆貯金 総額で78,000千円

平成12年度、一日皆貯金は10月17日から31日まで、組合員宅及び町内各ご家庭を訪問し実施いたしました。

実績といたしましては、件数1,478件で組合員、準組合員、員外を含め総額78,348,221円となりました。

また、一日皆貯金の抽選では金賞20人、銀賞70人、銅賞150人の方がそれぞれ当選されています。

農業情勢、経済状況の厳しい中ではありますが、皆様の多大なるご協力に厚くお礼を申し上げますと共に、今後とも宜しくお願い申し上げます。

懐しき古き一枚の写真



昭和30年代前半頃

秋の収穫エン麦の脱穀作業(共同)。

この頃はまだ畜力万能の時代で、自家用のエン麦を結構耕作していました。

写真・文提供 房川 喜延氏